

有明工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	英語コミュニケーションA	
科目基礎情報							
科目番号	0014			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 3		
開設学科	電気工学科			対象学年	3		
開設期	通年			週時間数	前期:2 後期:2		
教科書/教材	Mainstream English Communication III : 増進堂 高校英語 Harvest 3rd Edition : 鈴木希明 / 桐原書店 Date Base 3000 3rd Edition : 桐原書店						
担当教員	徳田 仁						
到達目標							
到達目標 1. まとまりのある英語の文章の概要や要点を読み取ることができる。 2. 目的に応じて英文の内容を整理して読み取ることができる。 3. 文章の内容を理解したうえで、それについて自分の考えを表現することができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	英文をスキャンリーディングし、速やかに必要な情報を見つけることができる。			英文を読み、時間をかけて、必要な情報を見つけることができる。		英文を読んで、必要な情報を見つけることができない。	
評価項目2	英文の構成を把握し、筆者の主張やキーワードを完全に説明できる。			英文の構成を認識し、筆者の主張やキーワードを指示することができる。		英文の構成を認識できず、筆者の主張やキーワードを指示することができない。	
評価項目3	英文を読み、その内容を活用して、自身の考えを他者に説明することができる。			英文を読んで、その内容と自身の考えを比較することができる。		英文を読んでも、その内容と自身の考えを比較することができない。	
学科の到達目標項目との関係							
学習教育到達目標 A-1 学習教育到達目標 A-3							
教育方法等							
概要	3年生の英語コミュニケーションAでは、教科書の奇数レッスンを対象として授業を行う。語彙力の増強と1・2年生で習得した英文法の総復習を行う。また教科書による授業と並行してTOEIC Bridgeの模擬テストを行い、4年生でのTOEIC IP 一斉テストを想定した実戦形式で語彙力・文法力の確認を行う。						
授業の進め方・方法	授業は教科書をもとにした講義中心で、板書も行う。また各レッスンに付随した小テスト・TOEIC Bridge模擬テストも並行して行う。						
注意点	教科書や配布されたプリント等は、忘れずに必ず授業に持参すること。また長期休暇中は与えられた課題をこなし、休暇明けの課題試験にきちんと備えること。課題試験のウェイトは定期試験と同等とする。冬休み明けには英語運用能力実力テストのA.C.E.テストを実施するが、こちらの結果は平均点を基にしてA.C.E.テストスコアを調整後、春・夏課題試験と同じウェイトで総合成績に加味する。週時間数は、前期2+後期1の配当。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	課題試験の返却・解説 授業の Introduction		課題試験を自己採点し、なぜ間違ったかを確認できる。授業の概要を理解できる。		
		2週	Chapter 1 The Legacy of Kano Jigoro ① Part 1		嘉納治五郎の生涯とその功績を時系列を追って理解できる。		
		3週	② Part 2		時間的順序を示すディスコースマーカーを理解できる。		
		4週	③ Part 3		例示・列挙・新情報の追加の表現を意識して読むことができる。		
		5週	④ Part 4		それぞれのディスコースマーカーと、その後に続く内容を把握できる。		
		6週	Chapter 3 Mona Lisa ―The Way to Fame― ① Part 1		モナ・リザが有名な絵となった経緯を理解できる。		
		7週	② Part 2		言い換え、要約・結論を示すディスコースマーカーを理解できる。		
		8週	前期中間試験				
	2ndQ	9週	③ Part 3		原因・理由と結果の表現を理解できる。		
		10週	④ Part 4		それぞれのディスコースマーカーと、その後に続く内容を把握できる。		
		11週	Chapter 5 Life and Tax ① Part 1		日本とフィンランドの税制の違いを読み取り、それぞれの特徴を理解できる。		
		12週	② Part 2		逆説・対比のディスコースマーカーを理解できる。		
		13週	③ Part 3		スキャンニングを実施する上でのキーワードを見つけ出すことができる。		
		14週	④ Part 4		④ Part 4スキミングを実施する上でのキーワードを見つけ出すことができる。		
		15週	前期末試験				
		16週	前期末試験答案返却・解説				
後期	3rdQ	1週	夏課題試験答案の返却・解説		夏課題試験を自己採点し、なぜ間違ったかを確認できる。		
		2週	Chapter 7 Expanding World Population ① Part 1		世界人口がどのように変遷しているかを読み取ることができる。		
		3週	② Part 2		グラフの数字に関わる表現を理解することができる。		

		4週	③ Part 3	グラフの数字を把握しながら、グラフに示された内容を理解できる。
		5週	④ Part 4	グラフの数字を読み取った上で、英文に書かれた内容を理解できる。
		6週	Chapter 9 Theories about Dinosaur Extinction ① Part 1	3人の生徒の主張の内容を理解させ、それぞれの意見の違いを把握することができる。
		7週	② Part 2	主張している内容の根拠とその結論を理解できる。
		8週	後期中間試験	
	4thQ	9週	③ Part 3	主張が示されている表現を探し出し、主張の要点を理解できる。
		10週	④ Part 4	主張の根拠の例示と、根拠の例示から導かれる結論を理解し、英文のパラグラフ構成を理解できる。
		11週	Chapter 11 Why do we lie? ① Part 1	人はどの程度の頻度でうそを言っているのかを理解できる。
		12週	② Part 2	うその仕組みを説明する実験の内容とその結果を理解できる。
		13週	③ Part 3	未知語を文脈の中で類推することができる。
		14週	④ Part 4	うその仕組みを説明する実験の内容がどのパラグラフ構成方法で展開されているかを理解できる。
		15週	学年末試験	
		16週	学年末試験答案の返却と解説	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	0	0	0	20	0	100
基礎的能力	80	0	0	0	20	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0